

平成 28 年 3 月 1 日

貝塚市議会議長

北尾 修 様

公明党議員団

北尾 修

中山 敏数

前園 隆博（報告者）

公明党議員団視察報告

1. 視察先；千葉県君津市

日時；平成 28 年 2 月 25 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分

面談者； 保健福祉部健康づくり課 小川課長・鶴岡主任保健師・寺北係長

目的；妊娠・出産包括支援モデル事業について

- モデル事業の内容について
- 現在の状況について

内容

1) 君津市の概要

君津市は房総半島の中南部にある産業都市で、市域の大部分は内陸部に広がっており、一部が東京湾に臨んでいる。

2) モデル事業の取組み

平成 26 年 2 月の市の助成制度を利用した産科医療機関が開院、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目ない支援体制づくりを行うことになった。

3) 事業の効果及び今後の展望

- 出産や育児の不安が軽減される。産後うつの予防やスムーズな育児のスタートが切れるようになる。
- 要支援と判断された者を早期支援につなげ、その後も乳児全戸訪問事業・乳幼児健診の機会の利用、関係機関との連携により当該事業による支援の効果を高める。

4) 妊娠・出産包括支援モデル事業

- 母子保健相談支援事業
- 産前・産後サポート事業
- 産後ケア事業

3 事業とも全委託で実施した。

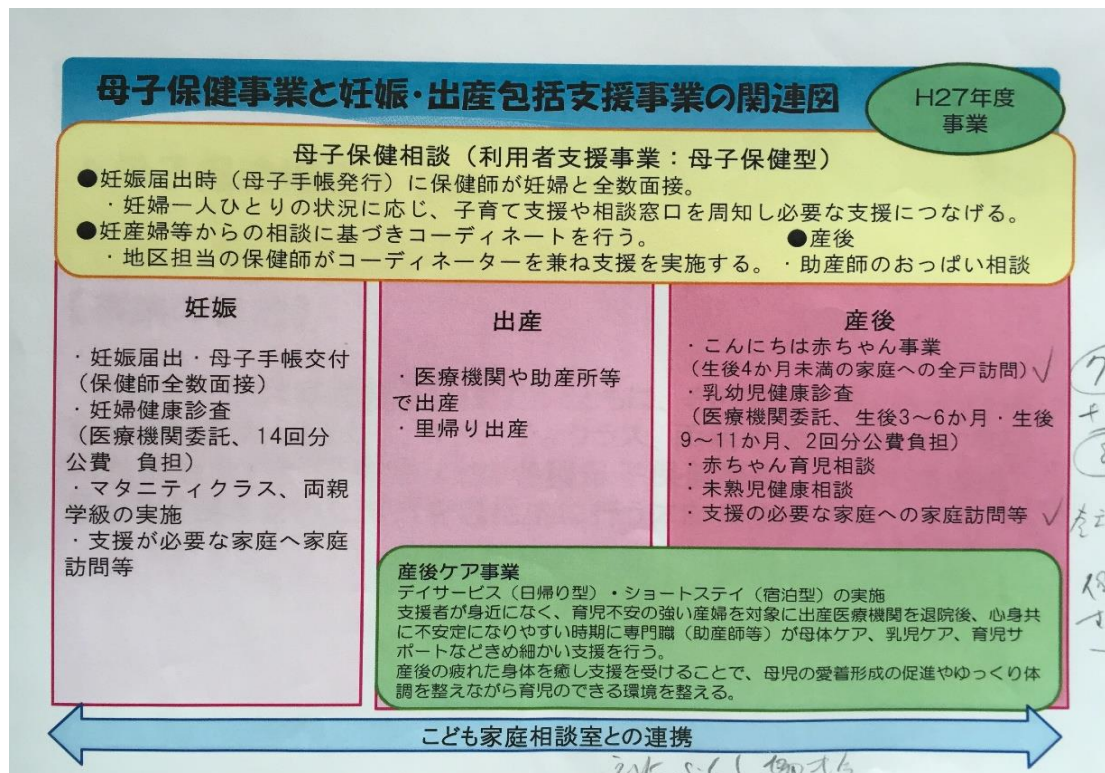
5) 妊娠・出産包括支援事業について

目的；危機的な人口減少を克服し、また虐待による死亡事例が後を絶たない状況にあり、早急に地域においてワンストップで妊娠期から子育て期にわたるまでの相談に対応できる体制

を整え、子育て世代の安心感を醸成することを目的とする。

君津市での実施体制は

- ① 母子保健相談（利用者支援事業）君津市で実施
母子手帳発行時全数面接、おっぱい相談
- ② 産後ケア事業 協力医療機関（委託のみ）
デイサービス（日帰り型）、ショートステイ（宿泊型）



6) 妊娠・出産包括支援事業の今後の課題

①人材の育成・確保

- 地区担当保健師がコーディネーターの役割を果たすためのスキルの獲得
- 産後ケアのできる助産師の確保
- シニア世代の活用
- 新規事業の開拓

②地域の産科医療機関、近隣市町村との調整

③受入態勢の検討

④独立した産後ケア施設の必要性

⑤評価方法の検討

感想； モデル事業から支援事業に移行し、様々な問題もでてきている。上記の人材の育成や近隣市町村との調整が今後必要ということを感じた。

2. 視察先；茨城県日立市

日時；平成 28 年 2 月 26 日（金）13 時～15 時

面談者；都市建設部新交通推進課 佐藤課長

目的；新交通導入事業（ひたちシステム BRT）について

- 導入経緯について
- 取組みについて
- 導入後の状況について

BRT とは Bus Rapid Transit の略で、バスを基盤とした大量輸送システムで、バス高速輸送システムとも呼ばれる。日立市は廃線となった鉄道路線をバス専用道路に整備し、新しい交通システム BRT を構築され、その視察を行った。

内容；

1) 日立市の概要

関東平野の北端、茨城県の北東端。人口減少、少子化の加速(人口は 18 万人台へ) 高齢化の進展 (高齢化率 27.5%) , 交通の多くは南北移動、慢性的な道路交通渋滞。

2) 日立電鉄線

平成 17 年に日立電鉄線廃線、平成 21 年に日立電鉄線跡地活用整備基本構想を策定、平成 23 年新交通導入計画を策定

3) 第 I 期区間の概要

バス専用道路

①運行区間 日立おさかなセンター⇄JR 大甕駅(約 3.2km) 平成 25 年 3 月運行開始

②整備内容 * バス専用道路(約 1.3km、停留所 11 か所)

* 交通ターミナル(おさかなセンター脇)

* 交通広場(南部図書館脇)

* 運行管理システム

* 車両(低公害車両 2 台)

* 付帯施設(バスシェルター、停留所サイン)

③運行ダイヤ 平日 5:50~22:45 33 往復、 土日祝日 6:35~21:32 25 往復

④所要時間 約 12 分

⑤運賃 190~200 円 (学生通学割引定期 1,000 円/月)

⑥利用者 約 480 人/月 (採算ラインは 470 人/月)

4) サポーターズクラブ

地域住民、沿線にある企業・高校・商業観光事業者等が参加(22 団体)

利用促進及び地域の活性化のため、「ひたち BRT サポーターズクラブ」を設置

役割；

- * 車両デザイン、運行ダイヤ、停留所の名称等を検討
- * ダイヤやルート等の運行見直しの検討
- * 観光や商業施設とタイアップした利用促進活動の展開

VI 第 I 期区間の整備概要①

ひたちBRT
HITACHI BRT SYSTEM PROJECT

1 バス専用道路

- 区間 吹上通り～久慈浜駅（約1.3km）
- 幅員 標準幅員7.5m（バス専用道路4m、歩道3.5m）
- 停留所 専用道路間に5箇所
車両すれ違いのための待避所3箇所
- 期間 平成21～24年度
- 事業費 約250百万円（うち、特定財源137百万円）



5) ひたち BRT まちづくり計画

目的： ひたち BRT を日立市の新たなまちづくりの基軸として機能させ、交通機能の向上及び沿線地域の活性化を図る。

位置づけ；

- * ひたち BRT を基軸としたまちづくりの基本方針を地域で共有する。
- * 市民、事業者と協働してまちづくりを進めるための施策や役割分担を示す。
- * 公共交通を軸としたまちづくりを推進し、地方都市再生のモデルとして発信する。

検討範囲；

- * JR 日立駅周辺以南の臨海部

感想；

鉄道が廃線したあとに、バス専用道路及び交通システムを作り、利用者が年々増えている。利用者が増えている背景は、サポーターズクラブなど地元住民の声を反映させていることが大きな要因と思われる。本市は水間鉄道があるが、もし廃線の危機があった場合は、ひたち BRT のようなシステムの構築の検討が必要と考える。

以上